

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

今年もあと二ヶ月。肌寒い日が増えてきますので、くれぐれもご自愛ください。

「暮らしやすい国」へ

安倍内閣が誕生しました。

安倍さんは「美しい国」をつくることを目標にしているそうです。「美しい」という言葉はもちろん良い言葉ですが、「美しい」と感じる風景や事は人によってまちまちであり、「美しい国」の具体的な内容を決めるのはなかなか難しいことかもしれません。個人的には、「暮らしやすい国」を目指して国会での職務に精励したいと思います。

ところで、今月から高齢者の皆さんの医療費の自己負担が増えました。自己負担が増えただけではなく、今年の4月からは今まで医療保険がきいた治療等でも自分で負担しなければならぬものが増えました。

分かりやすい具体例は、リハビリテーション。以前のか

れません。医療保険で受けられるリハビリテーションの日に数に上限ができました。上限を超える期間のリハビリテーションは全て自分で費用を負担するのが原則となりました。例えば、脳梗塞(のうこうそく)でからだは不自由になられた方が、医療保険で受けられるリハビリテーションは百八十日まで。今年の4月から実際にリハビリテーションを受けていた方は、先月末で上限日数に達しています。

でも、現実には、脳梗塞でからだは不自由になった方が、百八十日でリハビリテーションが完了する保証はどこにもありません。

「美しい国」のイメージは人によってまちまちだと思いますが、困った人を支え合う国、加齢や病気でからだは不自由になったお年寄りや、未来を託す子どもたちを大切に

する国、地域の絆(きずな)が強く、暮らしていて安心できる国。僕としては、そんな国が「美しい国」のような気がします。

そう考えてみると、やっぱり、「美しい国」よりも「暮らしやすい国」という表現の方がしっくりきますね。

この点も、いずれ国会審議の中で安倍さんに聞いてみたいと思います。



覚王山ソクソクコーナー

(タイトル文字は書家・山内美風さん<TEL:782-1356>の作品)

—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します! ——
〈今回は、「寿し和」さんです〉

覚王山西交差点から10メートルほど南に「寿し和」さんがあります。暖簾をくぐれば、上品な佇まい。ケースの中には数々のネタ。知多半島近海で獲れた魚を毎日市場から仕入れているとか。「知多近海は**とても豊かな漁場**。獲れない魚を数えた方が早いのでは。」とは、**知多出身のご主人・江端和生**(かずお)さん。

地元産だけあって鮮度は抜群。さぞ、新鮮さが自慢と思いきや、「鮮度だけに頼らず、さらに**工夫を凝らして、ひと手間かけて、より一層おいしいものを**召し上がってもらいたい」とはご主人の弁。

この季節の旬は**鯖**(さむら)。これから寒くなるにつけ、美味しい魚が続々と入るそうです。

夜の時間(17:30~)に加え、9月から**お昼**(11:45~13:45)も始められたそうです。ぜひ一度お立ち寄りされてはいかがでしょうか。

寿し和 : 052-761-2299 (日曜定休)

